

第2回特別支援教育研修会「こみっと」を開催しました！

今回は、「愛着障害・愛着の問題を抱える子ども」というテーマで実施しました。小学校や保育所等から10名の先生方に御参加いただきました。研修会の内容を簡単に紹介します。

- ・日時 8月17日(木)10時00分～11時30分
- ・講話 「愛着障害・愛着の問題を抱える子どもの理解と支援」地域支援部主任 舘山奈穂子
 - 1 はじめに 親子関係のウソ・ホントクイズ
 - 2 愛着障害の理解(1)愛着形成とは何か
 - (2)愛着(障害)の六つの誤解
 - (3)愛着障害の三つのタイプ
 - 3 愛着の問題を抱える子どもの発見
 - 4 愛着障害への支援



【参加者の感想から】

- 愛着障害の特徴や支援の仕方、支援体制について知ることができた。校内の気になる子について、全校体制で臨むことが大切なので、資料を配付し、今日の内容について伝達したいと思う。
- 似たような子どもがいるので対応の仕方に悩んでいた。親の愛着が足りないからもっと親との時間が必要だと思っていたが、「誰でも」可能であることを知り、これから全職員で話し合い、その子どもとの関わり方を今一度考えていきたいと思った。
- 日々、気になる子を担当して対応に困ることや言葉掛けの難しさを常に感じていました。今回の研修を通して、すぐに問題行動を正したり、その場で何が何でもやらせようとしたりするのではなく、感情を伝え、その子に寄り添う支援をしていきたいと思いました。

☆教育専門監コラム☆

～愛着の問題から、支援を考える～

「今までやってきた対応・指導ではうまくいかない」「注意すると余計その行動の問題が増えてしまう」「激しい暴力行為が突然起き、収まらない。」などということはありませんか？

こうした子どもたちを理解する視点に、愛着の問題を抱える子ども・愛着障害という視点が必要かもしれません。

愛着とは「特定の人に対する情緒的絆」のことで、**子どもにとって、恐怖や不安から守ってくれる「安全基地機能」、そこに行くとき落ち着く、ほっとする「安心基地機能」、そこから離れても大丈夫で離れて行ったことを報告して認めてもらう「探索基地機能」**の三つの機能があります。この絆が育っていない問題が、愛着の問題です。

一方で、愛着の問題、愛着障害に関しては、「育て方の問題である」「今からでは取り返しがつかない」「親以外による愛着修復支援は親との関係を悪化させる」などの誤解もあります。

愛着修復は「いつでも・誰にでも」可能です。どの発達段階でも可能ですし、親はもちろん、その子に深く関わるチャンスのある人なら、保育士や教師、指導員等誰でも可能です。

今までの特性に合わせた指導・支援では難しい時、「愛着の問題と支援」という観点から考えてみるのが解決の糸口になるかもしれません。**目の前の子どもをじっくりと見つめ、一人一人の背景をチームで考えてみませんか。**

引用・参考：「やさしくわかる！愛着障害」米澤好史著（ほんの森出版）



安心感

感情の学習（気持ちの言語化）

キーパーソンの存在

チームでの対応

教諭（兼）教育専門監

渡部陽子

おしらせ

- ・「愛着障害・愛着の問題を抱える子どもの理解と支援」の研修会は、貴校(園)での開催も可能です。
- ・第4回は、12月15日(金)「感情のコントロールについて」です。オンライン方式で実施します。
- ・上記の内容を御希望の方は、裏面の窓口へお問合せください。

障害理解授業

藤里学園6年



8月30日(水)に藤里学園6年生を対象に、「障害理解授業」を行いました。31日(木)に居住地校交流で交流する前に、本校の児童についての関わり方について伝えるほか、能代支援学校のことや障害について理解を深めるために実施しました。

6年生たちは、これまでに居住地校交流を積み重ねてきている経験があります。そこで、授業では相手の気持ちを言葉以外でも感じ取る体験や、多様性について考えることにも取り組みました。多様性については、現在放送されているCMを紹介し、様々な差別について取り上げました。障害者の差別については、法律でも禁止されていることにも触れました。児童からは、「障がいの人たちは大変だと思っていたけど、私たちと同じで毎日楽しく過ごしていることを知りました。」「ささいなことでも差別になってしまったり、いじめにもつながってしまったりすることを知りました。」という感想があり、自分の生活や経験を振り返る機会にもつながっていたようでした。みんなが多様性を認め合う気持ちで過ごしていくことで、藤里学園全体が更に優しくなり、いつか秋田県、そして日本がみんなに優しい社会になっていけばと思っていることを最後のメッセージとして伝えました。



体験してみよう！
ペンのアップダウン
伝わった喜びを感じよう！



障害理解授業・・・藤里学園では、「特別の教科 道徳」で実施しました。居住地校交流の事前学習としてだけでなく、「総合的な学習の時間」の福祉の学習などとして実施できます。ご相談ください。

特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。

教頭：伊藤 孝義 ・ 佐藤 明

教育専門監：渡部 陽子 地域支援部主任：舘山 奈穂子

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681

ホームページ <https://noshiroshien.ed.jp>

E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp